

鵜住居区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ⑦昭和園仮設団地 議事要旨

記

■ 日時 12月19日（木）18時30分～20時30分

■ 場所 昭和園仮設談話室

■ 次第

1. 挨拶

鵜住居地区地権者連絡会 会長 古川愛明

釜石市復興推進本部 都市整備推進室長 前田達也

2. 住宅再建意向調査の結果について

- 昨年度の調査対象とした約5,000世帯から、住宅再建済みの世帯を除いた約4,200世帯を対象に行った。鵜住居地区では回収率は77.9%（12月4日現在）。
- 前回の調査に比べ、鵜住居地区で再建したいという世帯が増え472世帯。自力再建補助制度の拡充が要因と考えられる。
- 鵜住居地区で災害公営を希望する数は157世帯。
- 市全体でみると、災害公営住宅の入居希望者は変わらず、釜石東部地区の希望が多い。
- このアンケート結果の見直しを行いながら、計画に反映していく。

3. 鵜住居のまちづくりについて

【道路整備について】

- 復興まちづくりに合わせて、国道45号線の線形について、三陸国道と協議しながら計画してきた。国道の幅員は全体で17m、両側に3.5mの歩道を整備する計画となっている。
- 釜石遠野線は寺前交差点の改善、幅員12m両側2.5mの歩道の整備を行う。谷地地区を通り、鵜住居川と平行に鵜住居小中跡地まで繋がる計画。
- また、JR線と平行して谷地地区を通る道路を整備する。
- JR線を挟んだ谷地地区と新川原地区をむすぶ道路を整備する。線路の下でも4.5mの高さを確保し、大型車両が通れるような道路とする。
- 新神地区の道路は、区画整理事業で街区道路を整備する。常楽寺周辺は幅員6.5mで計画している。

【施設整備について】

- 鵜住神社付近の高台には鵜住居小・中学校の整備計画を進めている。標高約 15m の高台になることで、避難施設としての機能を持つ学校となる。準備工事として、今後木の伐採などを行っていく。
- 鵜住居駅前周辺には、約 2 ヘクタールの公共施設整備を計画している。人を集め、にぎわいを創出するという土地利用方針。追悼施設や体育館といった各施設の詳細な検討は今後行う。
- 駅南側には、市役所出張所や、公営住宅の整備を計画している。さらに南には、戸建ての災害公営住宅を計画している。換地計画の関係で、計画位置が多少変更になる場合があるがご了承いただきたい。
- 駅北東の街区には下水処理場を計画している。
- 担当業者の紹介、UR 都市機構。
市から説明された計画の骨格に基づき、換地設計を行っている。みなさまの個々の土地がどのくらいの面積、どこに、どうなるか、個別に説明させていただく。工事は、本来仮換地指定後となるが、承諾をいただき、仮の盛り土をしている。本格的工事は 3 月以降にはなり、かさ上げ工事を行っていく (UR 都市機構)

【土地の買い取りに関して】

- 買い取り対象としている土地について、12 月 10 日に買収価格のお知らせ文書を発送。1 月中から契約のお願いをしていく。
- 本来であれば直接面談にてお知らせする内容であるが、3 月の仮換地に向け時間が限られるため、電話や郵送で価格等のお知らせをしていることをお詫びする。
- お手紙での案内後、担当業者 (ランドコンサルタント) から電話で連絡をする。

4. 市道箱崎半島線について

- ルートは、釜石側から来ると、やまざき機能訓練ディサービスホーム付近から山へ入り、根浜の高台移転エリア (前川旅館再建位置付近) に出る。終点は既存の鵜住居 2 号線に接続する。
- 前回 (7 月) と変わった点は、区画整理事業に伴う道路と接続する部分の新川原連絡線。
- 測量・調査・設計の 26 年 3 月完了を目指している。用地買収、工事とともに根浜地区から進めており、順次鵜住居側の用地買収を行っていく。
通常であれば、用地買収が確定してから工事発注するが、半島への早急な道路整備のため、先行発注している。工事完了は 29 年 3 月末を目指している。

5. 意見交換について

私も自分の土地に建てたい（自力再建したい）が、区画整理が終わってからではないと駄目なのか。何処に建てられるかわからないのか。

→ 区画整理が終わり次第になりますので、来年2、3月には何処に建てられるかをお知らせできる予定です。

14-23-1 に道路はどの位かかるか？

→ 幅員17mの国道45号が、概ねかかります。道路にかかるから土地がなくなるという話ではなく、換地によって新しい国道沿いに場所を移っていただくことになります。ただし、減歩は発生するので、面積は少しじるることをご了承頂きたい。

山田線の内側あたりのわが家はいつ位に建てができるか？

→ 広範囲の工事であり、この場所がいつ造成が終わるかは、いまお示しすることはできません。来春には、概ねのスケジュールを提示できる予定です。
先行して、下水処理場と国道45号線の整備を行い、平成27年度中の完成を目指します。早いところでは、平成28年度の上半期くらいから建設できると考えています。
また、事業全体の完了は平成30年としていますが、前倒しする努力をしていきます。

昭和園はあと1年くらいで出て行かなければいけないと聞いていたが、今後、どうなるか？

→ 個人の土地に建てている仮設住宅については、土地の返却のため仮設団地の集約が始まっていますが、公営住宅の完成前に仮設から出ていただくようなことはありません。

公営住宅の集約化が図られ、平田の方などに移るとなると、高齢者は買い物や通院が大変。この点も考慮して頂けると助かる。

→ 考えていかなければいけない課題と受け止めています。

盛土の優先順位はあるのか？

→ 工事展開上、先に整備する必要がある下水道処理施設や国道沿いからになります。

最初、盛土量が40cmと聞いていて、それならばすぐにできると期待していたが平成30年度の完成では、待っていられない。早く公営住宅に入りたい。公営住宅に入る場合には、1人の場合には1部屋のタイプになるか？

→ お一人さま用の住宅のタイプは、1LDKとなります。

仮設の移転において、子ども達の帰省を踏まえた広い部屋をあてがってもらうことはできないか？4畳半では誰も泊めさせることができない。原則論は聞いているが、この点の希望は多い。

→ 借地している土地の仮設住宅については、転居をお願いすることもあるので、今後の動向を見つつ考えて行く必要があると思っています。

盛土高さが道路と同じ 40cm くらいと聞いたが。

→ 盛土量については、平均 1.7m のかさ上げとなります。地盤沈下しているところもあり、かさ上げによって雨水排水できるように整備します。

まちづくりにおいては、今後の高齢化を考えると、人を留めるような魅力づけが重要。復興住宅の中に高齢者への配慮が盛り込まれると良い。

→ 既存の建物の中にも、青葉ビルの高齢者向け住宅などの例もあります。高齢者の見守りができるような新しい公営住宅ができれば、世界に誇れるものになると考えています。談話室などコミュニケーションを図る空間が必要と思います。